

第8回「牧畜社会におけるエスニシティとエコロジーの相関」研究会

日時：2020年6月6日（土）、7日（日）

会場：Zoomを利用したオンライン会議（ホスト：大阪教育大学）

（本研究会はJSPS科研費JP17H04538の助成を受けたものです。）

○1日目 6月6日（土）

13:00-13:30 趣旨説明 シンジルト（熊本大学）

13:30-14:30 報告①

報告者：楠和樹（京都大学）

報告タイトル：「ラクダの民」の社会・生態史—植民地期ケニアにおけるアウリハン・ソマリ社会の生業、移動性、境界

モデレーター：波佐間逸博（長崎大学）

質疑応答(20分)、休憩(10分)

15:00-16:00 報告②

報告者：中野歩美（関西学院大学）

報告タイトル：北西インドの移動民ジョーギーの集団的特徴：生業と姻戚関係への着目から

モデレーター：シンジルト

質疑応答(20分)、休憩(10分)

16:30-17:30 報告③

報告者：秋山徹（早稲田大学）

報告タイトル：クルグズ人牧畜社会の構造と特徴

モデレーター：地田徹朗（名古屋外国語大学）

質疑応答(20分)、休憩(10分)

18:00-19:00 総合討論

○2日目 6月7日（日）

9:00-9:40 合評会①

楠和樹『アフリカ・サバンナの<現代史>—人類学がみたケニア牧畜民の統治と抵抗の系譜』昭和堂、2019年。

評者：田村うらら（金沢大学）・井上岳彦（大阪教育大学）

9:40-10:20 合評会②

中野歩美『砂漠のノマド：カースト社会の周縁を生きるジョーギーの民族誌』法蔵館、2020年。

評者：地田徹朗・宮本万里（慶應義塾大学）（休憩10分）

10:30-11:10 合評会③

秋山徹『遊牧英雄とロシア帝国：あるクルグズ首領の軌跡』東京大学出版会、2016年。

評者：シンジルト・波佐間逸博

11:10-12:00 総合討論

※ご参加の方は6月5日（金）までに井上岳彦（inouetkhk[at]gmail.com; [at]を@に変更の上ご利用ください）宛てに、ご氏名、ご所属、メールアドレス、参加日をお知らせください。返信でZoom会議のID・パスワードなどをお知らせいたします。